

第 32 回県民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会役員

委員長 天 野 一 (静岡県レクリエーション協会会長)

副委員長 都築 直哉 (静岡県スポーツ・文化観光部長)

委 員 員

中澤 通訓	(マスタース陸上)	渡邊 満雄	(グラウンド・ゴルフ)
齋藤 進	(ソフトバレー)	益田 茂	(インディアカ)
落合 治生	(ディスクゴルフ)	佐藤 弘康	(バウンドテニス)
城内 実	(テニス)	原川 博幸	(ワンダーフォーゲル)
西村予史男	(ダーツ)	佐地 茂人	(ビリヤード)
下田一十四	(ラージボール卓球)	増尾 裕三	(ターゲットバード・ゴルフ)
大杉 哲広	(スポーツチャンバラ)	谷野 守右	(オリエンテーリング)
本澤 勉	(ネオホッケー)	木村 亜希子	(ドッジボール)
鈴木 康之	(フーバ)	志村 操	(タスポニー)
藤田 秋夫	(ディスコン)	川村 隆宣	(一輪車)
杉山 克秀	(スポーツエルネ吹矢)	佐野 栄	(ペタンク)
金子 和裕	(ダンススポーツ)	安田 秀	(太極拳)
樋澤 秀高	(浜松市レク)	塚本 大	(スポレック)
松浦 伸行	(ノルディック・ウォーク)	渡邊 瑞樹	(モルック)
和久田一夫	(ペタボード)	渡邊 正規	(ファミリーバドミントン)
杉山 康司	(ノルディックウォーキング)	青野 宏子	(ミニランポ・ウォーク)
津田 達也	(県スポーツ振興課)		

事務局 鈴木 義乃 (静岡県レクリエーション協会 事務局長)

監事 山本 昭男 (静岡県レクリエーション協会 監事)

バドミントン競技大会役員

大会名誉会長	井林辰憲	大会委員	松本詔平
大会名誉副会長	鳥山勝也	〃	高林重法
大会会長	佐藤弘康	〃	桑田理子
大会副会長	小澤ハル子	〃	久保田英樹
大会委員長	新田清隆	〃	江口勝義
大会副委員長	白幡博司	〃	岡寄隆史
〃	齋藤みつ子	大会顧問	平尾辰夫

競 技 委 員 員

競技委員長	白幡博司	競技委員	松浦一浩	鈴木 浩	伊藤隆之
競技副委員長	松本詔平	〃	長谷川貞恒	石田 充	
審判委員長	松浦利治	審判副委員長	杉山泰次	審判委員	(相互審判)
総務委員長	小澤ハル子	総務副委員長	高林重法	総務委員	永田鈴子
看護師	漢人雅子	横山玲子	伊原清美		

日 程

- 9:00 会場準備・受付・開会式
- 9:45 競技開始
- 16:30 競技終了・片付け・閉会式

開会式

開会のことば
大会会長あいさつ
競技・審判上の注意事項
準備運動

閉会式

成績発表
表彰式
大会講評
閉会のことば

競技・審判上の注意事項

試合は、公益財団法人日本バウンドテニス協会の競技規則によるほか、次の事項により実施する。

☆BT ラリー戦は、1 分間のゲームを 3 回行い総打数で順位を決めるが、同打数の場合は 3 回目の打数が多い組を上位とし、尚も同打数の場合は合計年齢が多い組を上位とする。

☆団体戦は、チーム別対抗戦とし、シングルス、混合ダブルスの 2 試合を行い、2 勝した場合は勝ち点 3、1 勝は勝ち点 1 を得るものとし、その合計点数により順位を決定する。

☆団体戦予選リーグは、5 ゲームマッチ(タイブレークあり)とし、3 ゲーム先取を勝ちとする。

☆決勝リーグの組み合わせは、予選リーグの各ブロック内の順位によるほか、本部において調整し決定する。

☆決勝リーグは 7 ゲームマッチ(タイブレークあり)とし、4 ゲーム先取を勝ちとする。

ただし、5 チームのブロックは 5 ゲームマッチ(タイブレークあり)とし 3 ゲーム先取勝ちとする。

☆予選・決勝とも、各ゲームにおいてジュース及びタイブレークとなった場合は 5 ポイント先取を勝ちとする。

☆各リーグ内における順位は、勝ち点が多いチームを上位とするが、勝ち点が同数の場合は次により順位を決定する。

(ア) 当該チームの対戦結果 (イ) 得失ゲーム数差 (ウ) 本部による抽選

☆審判は相互審判とする。

☆試合進行表は、予選リーグ I ブロックのページに記載しています。

☆運営上、当日一部変更する場合があります。